

実施内容	アフリカ文化体験コンサート		体験領域	芸術文化
日付	令和6年2月26日(月)	場所	体育館	
実施校	東京都立立川学園			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本出身の奏者とアフリカ出身の奏者が一体となって演奏するアフリカ音楽を鑑賞し、踊りを体験することで、異文化についての理解を深め、芸術に親しむ態度を育むことをねらいとした内容となっています。 ・聴覚障害のある児童・生徒に対しては、手話通訳を行い、体験に参加できるようにしています。 			

演奏鑑賞

・ステージ上にタンザニアの代表的な一枚布の「カンガ」が飾られ、見慣れた体育館のコンサート会場へ様変わりを見て、児童・生徒は驚きの表情を浮かべていました。



・コンゴサッカーチームの歌「ワンビア」でコンサートが始まり、元気でノリノリの「ジャンボ」といった様々な曲が演奏されました。

国と楽器の紹介

・アフリカの地図を広げながら、奏者の出身国であるコンゴ、タンザニア、カメルーンの地理や文化についての説明を聞きました。



・「ジャンベ」、「シェケレ」、「パティカ」といったアフリカの打楽器や、独特の奏法などについての説明を、児童・生徒は興味深そうに聞き入っていました。

踊りの体験

・アフリカ音楽のステップや、簡単な振り付けを奏者から教わり、会場にいる全員で踊りました。



・曲のリズムに合わせて元気に笑顔で踊りを楽しむ様子が見られました。会場にいる全員で、大いに盛り上がっていました。

「アサンテ」

・最後に、スワヒリ語で「ありがとう」を意味する「アサンテ」という言葉の紹介があり、コンサートが終演しました。



・終演後は友達と「アサンテ」と声を掛け合ったり、教わったばかりの振り付けで楽しそうに踊ったりする児童・生徒の姿が見られました。

参加した児童・生徒の声・反応

- ・アフリカ音楽を初めて聴けるということで、今回の体験をとても楽しみにしていました。実際に聴いてみると、とても迫力ある演奏に驚きました。アフリカ音楽を初めて生で聴けたので、テレビで流れる音楽にも興味をもって聴こうと思いました。
- ・ダンスの振り付けを体験できてすごく楽しかったです。ダンスは人を楽しくさせ、自分自身も元気になれるものだと感じました。疲れた時など、今回教わったダンスで元気を出したいです。
- ・昨年、日本の太鼓の演奏を経験しましたが、それとは違った雰囲気や音の振動を楽しめました。一番楽しかったのはダンスです。いまだに忘れられなくて、つい踊ってしまいます。